

2024年6月10日



2024年3月期の業績について

2024年3月期の当社の業績は以下のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

- 売上高は4,144百万円で、前期に比較して244百万円増加しました。また、コロナ禍の影響を最も強く受けた2021年3月期と比較すると714百万円の増加となります。
- 売上の増加を受けて、営業損益は48百万円の利益計上となりました。732百万円の損失計上となった2021年3月期と比較すると780百万円の改善となります。また、営業損益が黒字となったのは、2019年3月期以来、5期ぶりのこととなります。
- 経常損益は318百万円の利益計上となりました。経常損益の利益計上は前期に続き2期連続となります。
- 最終損益は320百万円の利益計上となりました。前期は遊休大型不動産の売却に伴う特別損失計上により最終損益が赤字となりましたが、今期は売上の改善とコロナ禍期間中の多額の損失計上に伴う税務負担の軽減もあり、最終損益は前記金額の利益計上となりました。

全国的にバス乗務員の不足が社会問題となっておりますが、当社においても引き続き、要員確保に向けた待遇改善を目的として、収益性の確保に努めてまいります。